

「新広島ビルディング建替計画」始動 —広島市中心部の好立地にオフィスビルを建設—

三菱地所株式会社は、広島市中区^{のぼりちょう} 幟町において、「新広島ビルディング建替計画」を進めて参ります。

本計画は、現「新広島ビルディング」を所有する神戸広島ビル株式会社が同ビルを解体した上で、三菱地所が敷地に定期借地権を設定し、新たなオフィスビルを開発するものです。竣工後のビル名称は引き続き「新広島ビルディング」とし、オフィステナントや周辺地域の更なる賑わいに貢献する店舗テナントを誘致します。また、現「新広島ビルディング」に入居していた「百十四銀行広島支店」は再入居する予定です。

今後、関係各所との協議も踏まえた上で、2017年冬の新築工事着工、2019年秋の竣工を目指します。

計画地がある八丁堀エリアは、広島市中心部の主要道路である「相生通り」に面し、金融機関や大手企業のオフィスが集積する業務機能の中心地区であるとともに、百貨店等商業施設が並ぶ商業機能の集積エリアでもあります。その中でも、計画地は「胡町」駅徒歩1分と交通利便性に優れ、かつ視認性に優れた角地に立地しています。

三菱地所の広島市内におけるオフィスビル開発は、「広島パークビル」（1989年竣工）、「NHK広島放送センタービル」（1994年竣工）、「広島鉄砲町ビル」（2009年竣工）に続き、本計画が4棟目になります。

三菱地所は、本計画を含め、当社グループの不動産開発・運営に関するノウハウ・総合力・実績を活かし、更なる発展が期待される広島市中心部における「まちづくり」に貢献する開発事業に今後も積極的に取り組んで参ります。

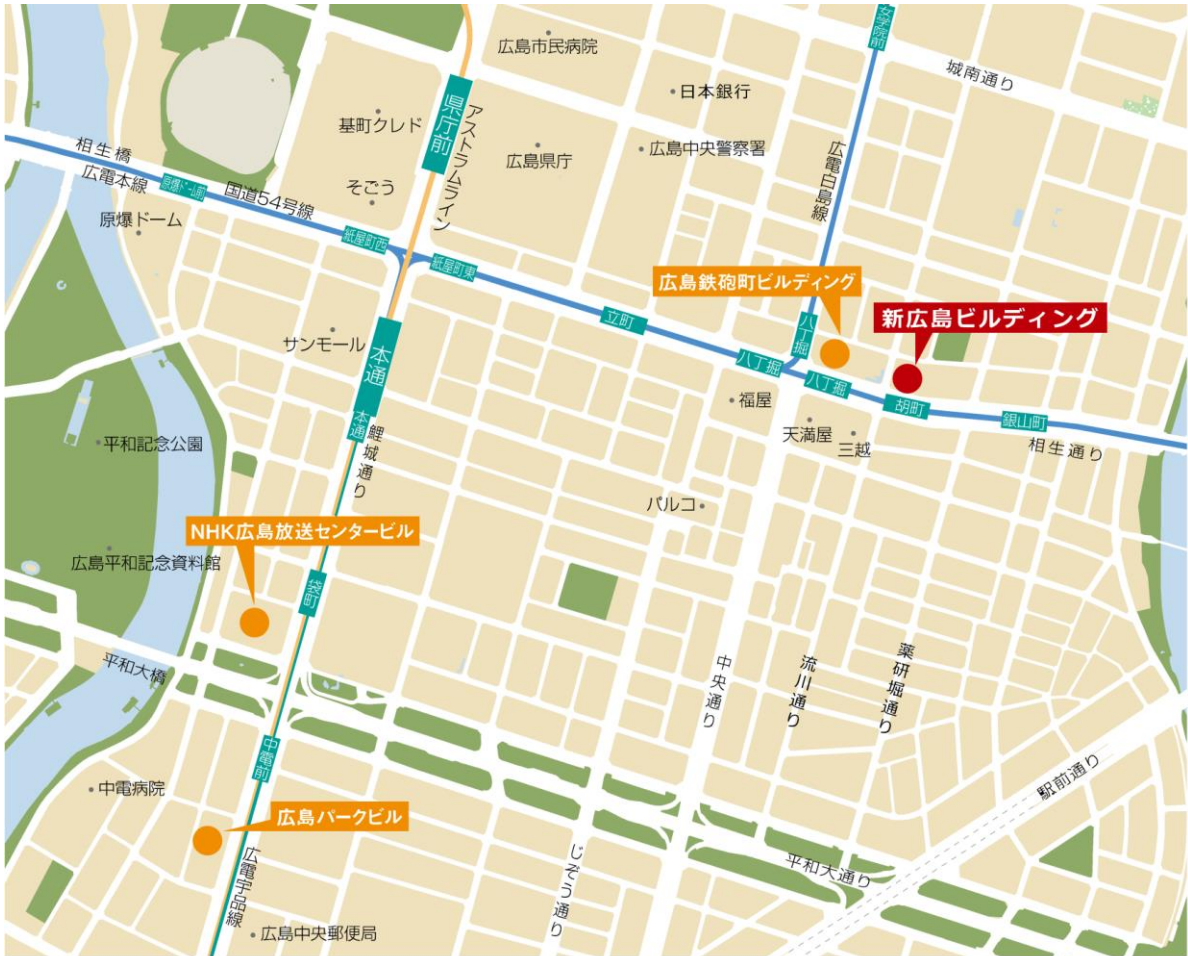
【計画概要（予定）】

所在地	広島市中区幟町 13番 13,14,15 (地番)
敷地面積	1,088.23 m ² (公簿)
延床面積	約 11,500 m ²
階数・構造	地上 14 階・鉄骨造
主要用途	事務所・店舗・駐車場
新築工期	2017年冬～2019年秋

【計画地】



【周辺地図】



0 250m
1:15,000

※吹き出しのついているビルは三菱地所開発物件です